

「新公立病院改革プラン」に対する意見照会時の自由記載欄の意見

プランに関すること「以外」に、御意見等ありましたら、下記に記載してください。
(自由記載)

新城市と他の自治体の現状、今後の財政状況を考える時、
又、北部医療圏の今後の医療の（介護施設も含め）、状況は2025年への
国の政策もあり 非常困難な状態になっていくことが想像される。
民間病院（療養病床）の存続は、経営状況が誠にきびしい状態となり、新城市
内の3つの病院は風前のともしびとなっています。究極な状態を想像
すると東栄病院と民間の3つの病院はその病床を無くし、
新城市民病院だけ残ります。市民は、他の4病院が行ってきた
医療を市民病院に要求し、部門（療養病床）を増やし、それを行
うこととなります。経営コストが非常に重み、市の財政、経営上
最悪の状態が予想され、さらにもしできなければ、北部医療圏の医療
と介護の状況も最悪となると思われます。この地域の病院、診療所
介護施設は公立、民間の別なく現在残っている医療資源を大切に
して存続のために今こそ協力し、役割分担の明確にすべきと思います。

プランに関すること「以外」に、御意見等ありましたら、下記に記載してください。
(自由記載)

公的医療機関には「山間・へき地」や「不採算・特殊部門」と
いった民間医療機関では困難な「地域・分野」の医療提供への重
点化が求められているが、加入者サービスの観点から考えると、
公立・民間を問わず、生活圏内に必要な医療提供体制が整って
いることが望ましい。

したがって、保険者の立場としては、医療提供体制の見直しに
あたっては、単に公立医療機関による帳尻合わせとならないよう
調整を図り、加入者サービスの低下を招かない医療提供体制の構
築をお願いしたい。